

春は見直しのチャンス

新生活の準備として、おすすめしたいのが「保険の見直し」です。子どもの進級や進学、引っ越しによる家族構成の変化など、生活環境の変化に伴って、必要保障額も変わることが多いようです。事前にしっかりと確認して、よりよい保険を選びましょう。

保険の総合代理店アイドカの情報スペース「なある情報館」には、今日も保険に悩む多くの人が足を運びます。

「出産や入園を機会に、子どもの保険に加入したり、自分たちの保険を見直したいというお父さんやお母さんが増えています。守るべき家族がいるからこそ、自分たちのこともしっかりと把握しておきたいですね」と、代表の田中広江さんは教えてくれます。

人気は「学資保険」と「医療保険」

乳児や未就園児をもつ親に多い相談は「学資保険」と「医療保険」です。

学資保険は、入学・進学時に進学給付金、満期時には満期学資金が支払われます。子どもの死亡時には、払込保険料相当額の保証が受けられるほか、契約者(子どもの父母・祖父母など)が死亡

もうすぐ春、今こそ保険の見直しを

～「なある情報館」に新空間誕生～

まだまだ寒い日は続きますが、春に向けての準備は整っていますか。新しい季節を迎える前に、いま一度、家族の暮らしを見直してみましょう。その第一歩が「保険の見直し」です。



保険業22年目の6ペーラン
代表取締役 田中広江

田中広江FP(ファイナンシャルプランナー)事務所

携帯 090-3469-5452

法人向け、個人向けの顧問サービスも行っています。料金は、企業月額10,500円、個人1,050円・2,100円・3,150円。お気軽にご相談ください。

募集代理店 有限会社アイドカ
019-663-8113

盛岡市高松2丁目2-7-2F <http://fp-hiroe.com>

SL05-512-110

アイドカの相談窓口「なある情報館」が、さらに利用しやすくなりました。従来の情報スペースに加え、個室のプライベートスペース「FP(ファイナンシャルプランナーズ)ネットワークオフィス」(盛岡市高松)を開設。「じっくり相談したい」「周囲を気にせず話したい」という利用者の声を実現しました。

なある情報館の新空間 「FPネットワークオフィス」

子どもが被保険者の場合、0歳から受け入れが可能な保険や、出産予定日の一カ月前まで加入できる妊婦向けの保険などもあります。

した場合は、その後の保険料の支払いが免除となります。出産140日前から加入できる保険もあります。医療保険に関しては、基本を押えて選ぶことが肝心です。①主契約にするか特約にするか、②何日間限度の保障にするか、③更新型にするか終身型にするか、などが挙げられます。



ファイナンシャルプランナー

「なある情報館」館長 高橋ミドリ

ここでは、企業の将来を考えた最適な保険提案を行う「リスキーマネジメント」をはじめ「役員退職金対策」「事業継承対策」など、法人向けの相談も受け付けています。また「相続対策」にも対応。遺産争いの防止や残された家族の生活設計、納税や節税対策など、保険をつまく活用することで解決の糸口を見つめます。相続問題は、複雑な上とてもデリケート。時間もかかるからこそ、冷静で信頼のおける専門家がきつと役に立つことでしよう。

「複雑な上」「ちょっと面倒」「話し合いにくい」などと言われる保険のあれこれ。けれども、ポイントさえ押えれば大丈夫。まずは気軽に相談を。



お客様の不安や悩みを解決する保険プランを提案

常務取締役 野坂哲司